

令和5年度 益子町立田野小学校 学校評価書

1 教育目標

教育指標「明るく生き生きとした、児童が主役の田野小学校」			
健康で明るい子ども	(健康)	よく考えて学習する子ども	(向学)
仲よく思いやりのある子ども	(友愛)	進んで正しいことをする子ども	(誠実)

2 学校経営の方針

<p>教育目標の具現化と知・徳・体の調和の取れた人間形成を目指す。</p> <p>(1) 心身共に健康でたくましく、情操豊かな児童の育成に努める。</p> <p>(2) 基礎・基本の確実な定着と、個性と意欲を尊重した教育の実践に努める。</p> <p>(3) 人間尊重と思いやりの心を基盤に、生き生きとした学校生活の実現を図る。</p> <p>(4) 教職員としての使命感と教育愛に燃え、経営参画意識をもった集団を目指す。</p> <p>(5) 学校・家庭・地域社会と連携し、地域とともにある学校づくりを推進する。</p>

3 今年度の重点目標

<p>(1) 健康な生活習慣と体づくりの推進</p> <p>①基礎体力の向上 ②健康や安全を考えた日常生活 ③交通安全・生活安全の徹底と危機管理意識の高揚</p> <p>(2) 学習習慣の定着及び学習意欲の高揚に基づく確かな学力の向上</p> <p>①わかる・できる・楽しい授業の実践(指導方法の改善) ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</p> <p>③新学習指導要領を踏まえた実施 ④人材・施設等の有効活用 ⑤小中連携の視点に立った教育課程や学習指導の検討</p> <p>(3) 豊か(良好)な人間関係を育てる心の教育の充実</p> <p>①児童指導の充実 ②学級経営の充実 ③道徳教育の充実 ④特別活動の充実</p> <p>⑤粘り強い取り組み、諦めない心を育てる支援</p> <p>(4) 資質の向上を目指した職員研修の充実</p> <p>①教職員の資質の向上</p> <p>(5) 地域に根ざした教育の充実及び幼保中との連携の推進</p> <p>①特色ある教育活動の充実 ②各種会議等の実施と充実 ③各種たよりの発行等</p>
--

4 評価表

A：十分達成（80%以上） B：おおむね達成（50～79%）
 C：どちらかというと達成できていない（49～21%） D：ほとんど達成できていない（20%以下）

項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		学校関係者評価	
			評価	達成状況と改善策	評価	成果(○) 課題(▲) 意見(●)
教育課程	・教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気、児童生徒は生き生きと生活している。 ・教職員は、責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる。	①児童生徒や学校の実態、保護者や地域の意見や要望等を踏まえ、学校としての教育目標等を適切に設定している。	A	【達成状況】 ・児童や地域の実態を考慮し、学校の経営方針・具体策を設定し、「たのしい田野小」の合い言葉のもと、教育活動に取り組むことができた。	A	○コロナ禍の間、宿泊学習が実施できなかった期間があったが、本年度は4年、5年で実施できてよかった。 ・今後も宿泊学習については、実施してもらいたい。
		②学校の教育課程の編成・実施の考え方について教職員間の共通理解を図っている。	B	【達成状況】 ・職員間の共通理解を図り教育課程を適切に実施することができた。 ・校務分掌を適切に分担し、さらに組織力を高めていく。		
		③教育課程の実施に必要な各教科等ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。	B	【達成状況】 ・教育課程の実施に必要な年間指導計画を作成している。週案により、授業時数を定期的に確認し、時数を確保することができた。		
		④全教育活動を通しての道徳教育や学校行事などの特別活動を適切に実施している。	B	【達成状況】 ・全教育活動を通して道徳教育の実践に努めた。学校行事については、昨年度はコロナ禍でできなかったものもあったが、今年度は内容を工夫改善しながらおおむね実施することができた。		
外部アンケート	児童	B	保護者	A	子供が他学年の子との交流をととても楽しいと話している。今後も学年を超えた交流等の取り組みを期待している。	

A：十分達成（80%以上） B：おおむね達成（50～79%）
 C：どちらかというとは達成できていない（49～21%） D：ほとんど達成できていない（20%以下）

項目	評価指標	主な具体的評価指標				自己評価		学校関係者評価	
						評価	達成状況と改善策	評価	成果(○) 課題(▲) 意見(●)
学習指導	・教職員は、児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせるために努力している。	①説明、板書、発問の工夫等を取り入れ、ねらいを明確にした授業を適切に実施している。				B	【達成状況】 ・授業研究会や学力向上改善プラン等を活用し、全校体制で学力向上に取り組んだ。教材研究をする時間を確保し、授業力向上に努めていきたい。	A	○確かな学力を身につけさせるために、十分に実践している。ICT教育など、新しいものに対し、先生が頑張っている。引き続き、タブレットPCの有効な活用を図ってってもらいたい。 ・タブレットPC持ち帰りのためのケースを共同購入したらどうか。
		②個別指導やグループ別指導、習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習、教師の協力的な指導等の個に応じた指導を適切に実施している。				B	【達成状況】 ・算数の授業を中心に、T・Tを実施したことにより、理解が十分でない児童に対して、授業中に個別的な指導を行うことができた。		
		③自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え自己の生き方についての考えを深める授業を展開している。				B	【達成状況】 ・多様な指導法を工夫し授業が展開できるよう、校内研修を実施した。ICTの効果的な活用に、引き続き取り組んでいきたい。		
		④話し合い活動等を取り入れた学級活動を展開している。				B	【達成状況】 ・積極的に話し合い活動を実施する学級が増えてきた。児童主体の話し合いができるよう取り組んでいきたい。		
		⑤各教科等で身に付けた知識や技能等との関連を図った総合的な学習の時間を展開している。				B	【達成状況】 ・総合的な学習の時間では、各教科との関連を図りながら、学年ごとの課題に取り組むことができた。		
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	子供は先生の授業がとても楽しくよく分かって話している。タブレットでの学習をもっと取り入れてほしい。			
児童（生徒）指導	・教職員は、児童生徒が希望や目標をもって生活し、好ましい人間関係を醸成し基本的なモラルや生活している。	①全教職員の共通理解の下に、指導体制が整備されている。				B	【達成状況】 ・関係機関とも連携し、チームでの指導体制が整備されている。また、配慮が必要な児童に対して、共通理解する時間を職員会議や打ち合わせでとることができた。	A	○チームによる指導体制づくり、挨拶等の指導、児童理解など、十分に実践が図られている。
		②規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切にしている。				B	【達成状況】 ・あいさつ、時間を守ること、廊下歩行について全職員で指導にあたってきた。引き続き粘り強く指導にあたっていく。		
		③共通理解に基づいて、問題行動等に適切に対応している。				B	【達成状況】 ・問題行動については、全校体制で迅速に対処してきた。支援の方法についても、職員間で共通理解を図り、指導にあたった。		
		④教育相談を定期的に行い児童生徒理解に努めている。				A	【達成状況】 ・友達調査、WEB-QUテスト等を生かし、教育相談週間等の時間も設け、児童理解に努めた。児童一人一人からよく話を聞いて対処してきた。		
	外部アンケート	児童	A	保護者	B	子供が嫌なことがあって気にしている時に、先生がすぐに対応してくれるので良かった。先生が休み時間外でたくさん遊んでくれてありがたい。			

A：十分達成（80%以上） B：おおむね達成（50～79%）
 C：どちらかというと達成できていない（49～21%） D：ほとんど達成できていない（20%以下）

項目	評価指標	主な具体的評価指標				自己評価		学校関係者評価	
						評価	達成状況と改善策	評価	成果(○) 課題(▲) 意見(●)
人権教育	・教職員は、一人一人を大切に、児童生徒が互いのよさを認め合い人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	①人権意識の高揚を図り、教育計画への適切な位置付けを図っている。				A	【達成状況】 ・毎学期のはじめに人権週間を設定した。言葉遣い等の振り返りをしたり、人権標語を作成したりすることで、意識の高揚が図ることができた。	A	○望ましい人間関係の育成に対する取り組みが十分に行われている。
		②各教科等の特質に応じて、「育てたい資質・能力」の育成に努めている。				B	【達成状況】 ・各教科等の指導計画の中に人権教育との関連を位置付けて指導した。		
		③教職員自らの人権感覚を磨き校内研修を継続的に行っている。				B	【達成状況】 ・人権教育研修を実施し、教職員の人権感覚の向上を図ることができた。		
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	いじめのない学校づくりや思いやりの教育については、これからも取組を充実させてもらいたい。			
特別支援教育	・教職員は、一人一人の教育的ニーズを把握し適切な教育的支援を行っている。	①全職員の共通理解の下に校内支援体制を適切に整備している。				A	【達成状況】 ・支援の必要な児童の共通理解を図った。迅速かつ柔軟に校内支援体制を活用できた。	A	○連携を図り、個に応じた指導を十分に行っている。
		②個別の指導計画を適切に作成している。				B	【達成状況】 ・保護者と連携をし、個別の指導計画を作成し、それに沿って指導にあたることができた。		
		③医療、福祉など関係機関等との連携を適切に図っている。				A	【達成状況】 ・教育委員会をはじめスクールカウンセラーやソーシャルワーカー等、関係諸機関と連携しながら支援をすることができた。		
	外部アンケート	児童		保護者	A				
保健管理	・学校は、児童生徒及び教職員の健康の保持増進に努めている。	①児童を対象とする保健（薬物乱用防止、心のケア等を含む）に関する体制を整備している。				A	【達成状況】 ・保健や安全に対する指導計画や指導体制を整え、年間指導計画に位置付け適切に実施することができた。	A	○健康の保持増進のための取り組みが十分に行われている。
		②日常の健康観察や、疾病予防、児童の自己健康管理能力向上のための取組を適切に実施している。				A	【達成状況】 ・児童の健康安全のために保健主事が中心となり、全職員で取り組み対応できた。		
		③健康診断を適切に実施し事後措置の徹底を図っている。				A	【達成状況】 ・各種の健康診断の結果を速やかに保護者に伝えるとともに、担任と養護教諭が連携して事後指導と啓発にあたることができた。		
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	健康教育については、これからも取組を充実させてもらいたい。			

A：十分達成（80%以上） B：おおむね達成（50～79%）
 C：どちらかというとは達成できていない（49～21%） D：ほとんど達成できていない（20%以下）

項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		学校関係者評価	
			評価	達成状況と改善策	評価	成果(○) 課題(▲) 意見(●)
安全管理	・学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	①学校事故等の緊急時に適切な対応ができるよう、危機管理マニュアル等作成・活用している。	A	【達成状況】 ・危機管理マニュアルの見直しや内容の追加を適宜行い、活用することができた。	A	○安全・安心な環境確保のために取り組みが十分に行われている。熱中症については、継続して対応してほしい。 ・防犯に関する情報は、地域にも広く周知されるとよいのではないかと。
		②学校徴収金の経理は適切であったか。	A	【達成状況】 ・定期的に確認をすることで、適正に学校徴収金の処理を行うことができた。		
		③安全点検（通学路を含む）を組織的、計画的に実施し、危険を防止するための措置を講じている。	A	【達成状況】 ・安全点検は毎月実施し、不備があったところは迅速に対応することができた。通学路の危険箇所については教育委員会に報告した。		
		④防犯・防災に関する訓練等を適切に実施し、教職員及び児童生徒の安全対応能力の向上に努めている。	A	【達成状況】 ・火災等の避難訓練や小中合同の引き渡し訓練等を実施し、安全対応能力を高めることができた。		
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	猿やイノシシ目撃時のメールは参考になる。
情報提供	・学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報の公開をしている。	①学校に関する様々な情報が、保護者や地域住民に、十分にわかりやすい内容で、かつ適切な分量を提供している。	A	【達成状況】 ・ホームページや学校・学年だよりなど各種のたより等を通じて、保護者や地域の方々に知っていただいている。緊急時には、迅速に一斉メールを配信して周知することができた。	A	○十分に情報の提供を行っている。 ・個人情報の取り扱いには十分留意し、引き続きお願いしたい。
		②学校だよりや学年だよりの発行・ホームページの公開等を行い、情報の伝達・公開を適切に行っている。	A	【達成状況】 ・各種のたよりやホームページにより、学校の様子が分かるようにし、ホームページはほぼ毎日更新した。内容の充実に努めたい。		
	外部アンケート	児童	A	保護者	A	写真で見ると学校の様子が分かってありがたい。
保護者・地域住民等との連携	・学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得ようとしている。	①地域住民から寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A	【達成状況】 ・行事の実施反省やアンケートなどからの意見や要望を誠実に受け止め、迅速な改善に努めた。	A	○十分取り組みが行われている。今後も連携してほしい。
		②保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に取り入れている。	A	【達成状況】 ・授業参観や家庭教育学級、学校行事（運動会、持久走大会等）により、参加の機会を設け、工夫して実施できた。		
		③授業や学校行事等に地域の人材など外部人材を活用している。	A	【達成状況】 ・読み聞かせボランティア、消防団との学習会、校外学習の講師等、地域人材を活用した学習活動を行うことができた。		
		④家庭や地域の関係機関、団体との連携を図っている。	A	【達成状況】 ・行事や授業において、保護者や関係機関と協力した取り組みを実施し、連携を図ることができた。		
	外部アンケート	児童	B	保護者	A	運動会の種目を増やしてほしい。

A：十分達成（80%以上） B：おおむね達成（50～79%）
 C：どちらかというと達成できていない（49～21%） D：ほとんど達成できていない（20%以下）

項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価				学校関係者評価	
			評価	達成状況と改善策			評価	成果(○) 課題(▲) 意見(・)
教育環境整備	・設置者と連携して、児童生徒が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている。	①施設・設備を有効に活用している。	B	【達成状況】 ・特別教室の有効活用に努めることができた。教育委員会と連携し引き続き整備に努めていきたい。			A	○十分取り組みが行われている。施設に関しては、予算があるため難しい面があるかもしれないが、これからも子どもたちのために整備をお願いしたい。
		②教材・教具・図書の整備を適切に行っている。	A	【達成状況】 ・特別教室、資料室、図書室等の備品整理を実施し、有効に活用できるようにした。				
		③学習・生活環境の充実のための取組を行っている。	B	【達成状況】 ・学習コーナーや将来の夢の掲示などの工夫を行った。児童が学習意欲や達成感を喚起できる掲示の工夫に努めていきたい。				
	外部アンケート	児童	A	保護者	A			
働き方改革	・教職員一人一人が、子どもと向き合う業務に集中するために、業務の適正化を図るなど働き方改革に積極的に取り組んでいる。	①働き方改革に対する教職員の意識の向上を図っている。	B	【達成状況】 ・職員の働き方改革の意識の高揚が見られた。組織として協力し合えるよう向上を図りたい。			A	○これからも、業務の改善に取り組んでほしい。
		②業務改善の推進を図っているか。	B	【達成状況】 ・業務改善のための検討会を実施し、改善できる部分については適宜取り組み、推進を図った。引き続き、改善を進めていく必要がある。				
	外部アンケート	児童	/	保護者	/	教材費などの決算書は、年1回(学年末)だけでよい。		